

ほっとメール

誰もが健康で居心地よく くらせるまちづくり

神奈川みなみ医療生協

2023年10月25日



組織部

第552号



三浦診療所で支部役員さんと いっしょに地域訪問行動を行う。

10月19日、三浦診療所で組合員と一緒に上宮田の県営住宅に地域訪問行動を行いました。当日は職員9名と支部役員4名が組を作って行動しました。訪問のきっかけは、今年1月から現在までに団地内で6名の孤独死があったことを知ったからです。

県営住宅は、15棟で管理戸数は560戸。昭和30年代から40年代に建設されたもので、かなり老朽化が進んでおり、新規の入居者を募集していないため、空き部屋が目立ちます。現在の入居者は453世帯。60歳以上が374世帯であり、高齢者が8割以上を占めます。一人暮らしは227世帯です。5階建てでエレベーターはありません。そのため、高齢者が買い物や医療機関受診のために階段を上り下りするのは、かなり大変です。

団地内では、社会福祉協議会が中心となり、自治会館や集会所を活用して、ふれあいサロンや元気アップ体操などが実施されています。また、買い物難民を生み出さない取り組みとして、(株)イオンテールが今年5月から週2日(月・木)食料品や日用品を中心に移動販売をしています。

そこで、三浦診療所では、健康まつりへのお誘いをしながら、団地住民から診療所への要望や困りごとを把握するために訪問行動を計画しました。訪問は14時から15時の1時間。結果は、47件訪問、14件対話。参加者からは、「日中ということもあり留守がおおかった」「空き部屋が多い」「自閉症の息子さんがコロナで休んでいたが、高齢のお父さんと二人暮らし。大変そうだった」「残念だけど診療所に介護事業所があることが知られていない」「診療所を知ってもらえる機会になって良かった」「職員と訪問出来て良かった。職員がいると心強い」などの感想が寄せられました。

「引き続き訪問行動を行いたい」という参加者の期待に応えるために次回の取り組みを検討します。さらに健康チェックや食料支援の実施も検討していく予定です。



訪問前に意思統一



団地を全戸訪問しました

*各事業所の取り組みをお寄せください。ニュースで紹介させていただきます。 h-sosiki@k-minami.or.jp